

研究業績等に関する事項

種別	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行または 発表年月	発行所、発表雑誌等 または発表学会等の名称	備考
著書	ルノワール～その芸術と青春	単	2002年8月	六耀社	総108頁
著書	西洋絵画の到来～日本人を魅了したモネ、ルノワール、セザンヌなど	単	2007年11月	日本経済新聞出版社	総454頁、2008年度ジャポニスム学会賞
著書	ジャポニスム 流行としての「日本」	単	2018年12月	講談社	現代新書、総272頁
学術論文	セザンヌにおける意味と造形	単	1977年3月	(卒業論文) 東京大学	
学術論文	セザンヌと物の表現	単	1980年3月	(修士論文)東京大学	
学術論文	ドラクロワの〈アルジェの女たち〉とロマン派の光の表現	単	1985年3月	『美術史論叢』1号	東京大学文学部美術史研究室、p.65-p.78
学術論文	セザンヌの静物モチーフ―瓶と林檎をめぐって	単	1986年5月	『地中海学研究』9号	地中海学会、p.83-p.104
学術論文	セザンヌの言説～表面／深みそして古典／自然の対立について	単	1987年3月	『文化』10号	駒沢大学文学部文化学教室、p.109-p.142
学術論文	夢と幻想の版画をめぐって	単	1988年6月	『西洋近代版画にみる夢と幻想の系譜』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 群馬県立近代美術館、p.10-p.12
学術論文	画家たちのエッフェル塔	単	1989年9月	『エッフェル塔 100年のメッセージ【建築・ファッション・絵画】』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 群馬県立近代美術館／エッフェル塔 100周年記念展実行委員会、(仏語訳付) p.166-p.180
学術論文	織物と女性 印象派時代のルノワールをめぐって	単	1992年11月	『美術史の六つの断面』	高階秀爾先生還暦記念論文集編集委員会編、美術出版社、p.386-p.400
学術論文	ヴァン・ドンゲンの〈シャンゼリゼ大通り〉とその下層にある「女の顔」	単	1993年7月	『隠された肖像 美術品の科学的調査』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、p.21-p.25
学術論文	日本におけるモネの受容	単	1994年2月	『モネ展』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、中日新聞社、p.239-p.252
学術論文	ルノワールの日本における蒐集・展示・批評 1910年-1920年を中心に	単	1995年1月	『ルノワールと日本の画家たち』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、p.6-p.15
学術論文	モンティセリ・セザンヌ・ゴッホ	単	1995年9月	『モンティセリ』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、p.14-p.20
学術論文	日本の西洋美術コレクション―1890-1940	単	1997年10月	『西洋美術に魅せられた15人のコレクターたち 1890-1940』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、p.3-p.17
学術論文	西洋近代の額縁をめぐって～美術館は額縁をどう考えるか	単	1999年2月	『画家と額縁―もうひとつの美術史』	(展覧会カタログ) 西宮市大谷記念美術館、p.8-p.9
学術論文	フランス・一八九〇年以降- 装飾の時代	単	2000年11月	『ジャポニスム入門』	ジャポニスム学会編、思文閣出版、p.51-p.68
学術論文	ルノワールの造形～セザンヌとの関係において	単	2001年2月	『ルノワール 異端児から巨匠への道 1870-1892』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、名古屋美術館、中日新聞社、(英訳付) p.177-p.187
学術論文	リニューアルによって美術館のアイデンティティを表現～ブリヂストン美術館～	単	2001年3月	『服飾美学』32号	服飾美学会、p.96-p.97
学術論文	石橋正二郎コレクション形成史～その2～終戦以後、コレクション年表、石橋正二郎の建築	単	2002年1月	『コレクター石橋正二郎～青木繁、坂本繁二郎から西洋美術へ』	(展覧会カタログ:企画・編集主担当) 石橋財団ブリヂストン美術館、石橋美術館、p.33-p.45、p.46-p.69、p.70-p.75
学術論文	セザンヌから20世紀絵画へ～自然・内面・絵画	単	2002年9月	『モネからセザンヌへ～印象派とその時代』	(展覧会カタログ) 秋田県立近代美術館・埼玉県立近代美術館、p.208-p.210
学術論文	"Ishibashi Shojiro and Japanese Art Collectors Between and After the Two World Wars"	単	2005年11月	『報館』53号	石橋財団ブリヂストン美術館・石橋財団石橋美術館、p.95-p.110
学術論文	『西洋絵画の到来』をめぐって	単	2008年5月	『日仏美術学会会報』27号	p.23-p.32
学術論文	フランス絵画の到来―林忠正から松方幸次郎まで	単	2013年11月	『往還の軌跡 日仏芸術交流の150年』	仏訳付、三元社、p.161-p.177
学術論文	〈透かし〉と〈透視図法〉――空間のジャポニスム・抄――	単	2014年3月	『探求と方法―フランス近現代美術史を解剖する』	晃洋書房、p.115-p.138
学術論文	水墨のジャポニスム・概観――筆の線、墨の黒をめぐって	単	2014年3月	『ジャポニスム研究』第33号別冊	ジャポニスム学会、p.19-p.31
学術論文	ジャポニスムにおける双方向性―綿織物におけるハイブリディティと「環流」	単	2016年3月	『ジャポニスム研究』第35号別冊	ジャポニスム学会、p.35-p.44

種別	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行または 発表年月	発行所、発表雑誌等 または発表学会等の名称	備考
学術論文	レオン・ド・ロニー『アントロジー・ジャポネーズ』からの波及—サン=サーンス、ビュルティ、五姓田義松	単	2017年3月	『ジャポニスム研究』第36号別冊	ジャポニスム学会、p.35-p.40
学術論文	フランスの新聞に見るジャポニスムのすそ野：1830年代末から60年代初頭までの“Japon”	単	2017年1月	『昭和音楽大学研究紀要』第37-2号	昭和音楽大学、p.13-p.17
学術論文	音楽写真家 小原敬司 展示記録および調査報告	共	2017年1月	『昭和音楽大学研究紀要』第37-2号	昭和音楽大学、p.93-p.106
学術論文	ジャポニスムの「終息」とそれ以後—その再定義を踏まえて—	単	2018年3月	『ジャポニスム研究』第37号別冊	ジャポニスム学会、p.11-p.17
学術論文	芸術家たちの見たヴェネツィアの〈死〉—モネによる連作の背景—	単	2020年3月15日	『昭和音楽大学研究紀要』第39号	昭和音楽大学、p.6-p.19
執筆	印象派の魅力(グレート・アーティスト)	単	1990年11月	同朋社	責任編集、総144頁および執筆p.61-85頁
執筆	ルノワール再考(ルノワール特集)	単	1993年8月	『芸術新潮』	p.15-p.21、p.41-p.46
執筆	印象派の軌跡	単	1994年10月～1995年4月	『神奈川新聞』他12紙	時事通信よりの配信、全30回の連載記事
執筆	印象主義、後期印象派	単	1995年6月	『ブリタニカ国際大百科事典』	TBSブリタニカ、p.371-p.374、p.556-p.558
執筆	近代のスポーツとレジャー十選	単	1998年8月	『日本経済新聞』	全10回の連載記事
執筆	ブリヂストン美術館への招待、近代絵画の出発	単	2001年6月	『読むブリヂストン美術館』	石橋財団ブリヂストン美術館、p.4-p.7、p.33-p.78
執筆	レスタンプ・オリジナル～世紀末版画フランスの版画革命(展覧会紹介)	単	2001年9月	『ジャポニスム研究』21号	ジャポニスム学会、p.45
執筆	モネから始まったものが、私たちに到っている	単	2006年3月	『モネ入門—「睡蓮」を読み解く六つの話』	地中美術館
執筆	美術論の交流—美術の受容における貢献—ディスカッション(英訳付)	単	2007年2月	『林忠正—ジャポニスムと文化交流』	林忠正シンポジウム実行委員会編、ブリュッケ、p.351-p.368
執筆	シュ・テーシヨンの軌跡	単	2007年6月	『朱徳群(シュ・テーシヨン)展』	(展覧会カタログ)日本美術協会・上野の森美術館、p.8-p.10
執筆	岩崎小彌太の西洋絵画	単	2010年8月	『三菱が夢見た美術館』	(展覧会カタログ)三菱一号館美術館、p.196-p.199
執筆	ジャポニスム私論～「KATAGAMI Style」展をめぐって	単	2012年12月	『視る』461号	京都国立近代美術館発行、p.2-p.4
執筆	教えて！ジャポニスム	単	2014年7月	『芸術新潮』	p.22-p.52
執筆	扇のジャポニスム	単	2018年11月	『扇の国、日本』	p.22-p.26
執筆	ジャポニスムからネオ・ジャポニスムへ	単	2019年1月	『本 読書人の雑誌』	p.16-p.18
執筆	印象派絵画の流入・流出	単	2019年6月8日～7月15日	『山形新聞』『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』など12紙	各文化面1ページ
口頭発表	ドラクワの〈アルジェの女たち〉とロマン派の造形	単	1984年10月	第1回日仏美術学会全国大会	
口頭発表	セザンヌのモチーフ—林檎と瓶を中心に	単	1985年5月	第38回美術史学会全国大会	
口頭発表	ふたつの大戦と絵画の流入・流出	単	1998年7月	日仏美術学会例会	
口頭発表	専門性という視点からの美術館行政批判	単	1998年12月	美術史学会東支部シンポジウム	
口頭発表	ジャポニスムと世紀末フランスの絵画・版画・装飾	単	2000年4月	ジャポニスム学会講演会	
口頭発表	“Ishibashi Shojiro and Japanese Art collectors: Between and After the Two World Wars”(keynote address).	単	2004年4月9日	Impressionism, Postimpressionism, and the Modern Era, International Symposium	Honolulu Academy of Arts
口頭発表	『西洋絵画の到来』をめぐって	単	2007年6月30日	日仏美術学会総会講演	
口頭発表	フランス絵画の到来～林忠正から松方幸次郎まで	単	2008年11月22日、23日	国際シンポジウム「日仏芸術交流の150年」	日仏美術学会・財団法人日仏会館・日仏会館フランス事務所主催
口頭発表	空間のジャポニスム	単	2009年3月28日	ジャポニスム学会総会講演	
口頭発表	空間をめぐるジャポニスム	単	2009年9月5日	ジャンクロード・レーベンシュテイン教授来日記念シンポジウム「フランス近現代美術史研究の可能性」	京都工芸繊維大学主催
口頭発表	「空間のジャポニスム」をめぐって	単	2010年7月3日	学習院大学哲学学会	

種別	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行または 発表年月	発行所、発表雑誌等 または発表学会等の名称	備考
口頭発表	浮世絵からマンガへ～ジャポニスムとしてのグラフィック・アートとその里帰り	単	2010年12月5日	シンポジウム〈ジャポニスムとマンガ〉:二つの日本美	ジャポニスム学会・京都精華大学マンガ博物館主催
口頭発表	グラフィック・イメージの東西環流～北斎、ポッティチェルリ、ミュシャ、夢ニ・・・	単	2011年12月18日	ジャポニスム学会例会	
口頭発表	水墨のジャポニスム・概観	単	2013年10月19日	第3回 畠山公開シンポジウム	ジャポニスム学会主催
口頭発表	ドラクワの見たシヨパン	共	2013年11月30日	昭和音楽大学生涯学習講座	昭和音楽大学
口頭発表	印象派の愛した音楽	共	2014年11月16日	昭和音楽大学生涯学習講座	昭和音楽大学
口頭発表	北斎とフランス印象派～絵画と音楽におけるジャポニスム	単	2015年3月18日	すみだトリフォニーホール	すみだトリフォニーホール
口頭発表	ジャポニスムにおける双方向性～工芸の貿易と交流	単	2015年11月28日	第4回 畠山公開シンポジウム	ジャポニスム学会主催
口頭発表	ジャポニスムの美術と音楽	共	2016年3月12日	昭和音楽大学生涯学習講座	昭和音楽大学
口頭発表	レオン・ド・ロニー『アントロジー・ジャポネーズ』をめぐる人々	単	2016年10月21日	第6回 畠山公開シンポジウム	ジャポニスム学会主催
口頭発表	魅惑のパリ～異国との出会い	共	2017年3月4日	昭和音楽大学生涯学習講座	昭和音楽大学
口頭発表	触発しあう美術／音楽	共	2018年3月10日	昭和音楽大学生涯学習講座	昭和音楽大学
口頭発表	ボナールのジャポニスム	単	2018年10月21日	「ボナール・ナビ派・日本」(シンポジウム)	国立新美術館・ジャポニスム学会主催
口頭発表	画家・音楽家たちのイタリア旅行	共	2019年3月17日	昭和音楽大学生涯学習講座	昭和音楽大学
口頭発表	印象派ブームわき起こる～第1次世界大戦直後の日本	単	2019年7月20日	国立西洋美術館 松方コレクション展 講演会	国立西洋美術館